HPJ製作工房・おりほん９

Twitter300字ss

2015年08月～2016年01月

森村直也
@hpjhal

twitter企画、Twitter300字ssに
提出した作品集です。
Twitter300字ssについてはこちら
http://privatter.net/p/310549

音～僕

2015/08

日常はどこへ行っても騒がしい。

昼間の街は言わずもがな。人々が眠りに落ちる夜ですら電車は重い体を走らせている。街道を行く多気筒バイク。時々混じる救急車のサイレン。渦巻く風に、煽られた木々が騒ぎ立てる。

＊

逃げたかったわけじゃない。ただ。

＊

重さとともに扉が閉まる。肌で感じる減圧の事実。それさえも徐々に遠くなり。

視界の色はグリーンへ。目の前の扉に切れ目が生まれ、やがて世界が僕を迎える。

目を閉じる。どくりどくりと僕自身から聞こえてくる。完璧な静寂の中、静寂を破る生きる音が。

「ここにいる」

ヘルメットの中わずかな空気を媒体として。鼓膜の奥、頭蓋をわずかに震わせて。

「僕は、ここに」

＊

僕は僕をようやく見つける。

夜～闇の普遍の僕ら

2015/09

かさり、こそり。あそこでここで上で下で。どこかでかすかな音がする。

「博士」

「うむ」

かすみ網を大きく構え、虚光を映す眼鏡を透かす。ぼんやりほのかに輝く世界。うすらと浮かぶものの影。星の光すら届かない、闇の彼方を睨み据え。

「いる、とは観測可能であること」

「いますかね」

ほれ、と博士は腕を振る。ばらりと散るのは。

「観測可能、とは電磁波との相互作用の証明であり」

にゃーん！

どこからともなく響いてくる。空から地から僕の中から。

「太陽たる観測者が普遍を拒絶する証左でもある」

博士が示し、かすみ網を。

虚光が消える。現実が凝る。

すくりと延びた陽光が、三角耳の小さな影を。

「やあ、箱が開いたね」

そして僕らは、存在する。

写真～想いは影の彼方に

2015/10

「影なんだ」

机に置かれたガラス板を、じっと見つめてヤツは言う。

「ブラックホールに落ちる物質は事象の地平面に情報を残す」

どこか縒れた一張羅。整髪料に汗の臭い。

「三次元は二次元に投影されうるとされ」

ガラス板を持ち上げる。繊細な縞がヤツの顔に彩を作る。

「つまり宇宙は二次元であり、全ては影であるとされた」

見つめているのは、板の、先？

「この板が宇宙と言ったら、信じるか？」

窪んで澱んで据わった目で。独り嗤う。

「これを割ったら」

「ちょ、待てって」

制止も届かず重力のまま、全てを乗せた干渉縞を積分の光にきらめかせ。

鼓膜を振るわす高い、

＊

「次があるさ」

泣きながらガラスと恋を片づけるヤツへ、無糖ブラックを差し入れた。

年の瀬～2038/1/19

2015/11

二〇三七年の年の瀬は帰宅することを諦めて。愛用の料理ロボットをついに職場へ持ち込んだ。

三二ビット、元試作機の愛娘。ウィルスすらも感染しない骨董品。

わかっていても。手放せなくて。

＊

「なんとかして」

「死なせないで」

聞こえる要望は切実で。エンジニアだから。専門家だから。

できる限りの延命策を。

＊

できないことも、また、あって。

＊

除夜の鐘が響き渡る。君が淹れたコーヒーを啜る。ハード欠陥に由来する少しずれた数値の味は、どう残しても変わってしまうと知っているから。

「今まで、ありがとう」

ＥＲＲのランプが点いては消える。

「ドウいたシまシテ」

割れた音声が作業室へ響き渡る。

あと一九日。

――君の時間が、過去となっても。

光～波紋の世界

2016/01

『光戦隊プリズムファイブ！　闇の帝王ダークキング、いざ覚悟！』

『光など滅してくれよう』

テレビ画面にかぶりつく子供たちを前にして、君は気のない息を吐く。

「光過敏症か、深海生物進化系？　そもそも可視光？　電磁波全般？」

子供番組に難しい話は無理だと思うよ？

「光のないところに世界はないのよ」

怒る彼女の姿が揺らぐ。テレビに夢中の子供たちが。明滅を残して『灯り』が消える。彼らの姿も幻光の彼方へと。

「寿命かなぁ」

調子の悪い投波機を。叩いて殴って点灯すれば、平和な居間が浮かびあがる。

『プリズムレーザーファイナルアターック！』

「レーザーは単」

ぶつり、暗転。僕は溜息。

――僕の手元の波紋の世界の、時間はなかなか進まない。

光～輝く世界

2016/01

坂を登り頂に着く。角を曲がり知らない道に迷い込む。山の上から見晴らす街に、電車でふと目を開けた先。

払暁の海を遠く眺める。名残惜しげな夕焼けの街に迷い込む。天蓋に開いた無数の穴から零れる灯りの下を歩く。知らない風景、初めての光景。出会う思い出、生まれる光跡。

観測可能な私の世界。

そして私は目を細める。光から取り残されたようなあなたの姿を見るために。どこかくすんで見えるのに、誰より確かなあなたのその手を取るために。

「待った？」

「いや」

「スーパー寄ってこ。鍋にしよっか」

「プリズムファイブソーセージ買って来てって」

「えっ！？」

ゆっくり進む私の時間、光り輝く私の世界。この世界が、何時までも続きますように。

☆かいせつ☆

<夜>
みんな大好き、シュレーディンガーの猫。観察者がいないと、状態は決まらない。

<写真>
ホログラムとは立体写真のこと。
レーザーを使用して撮影する基本的なホログラムは、像を焼き付けるガラス板に干渉縞を生じます。
レーザーの照射で像を結びます。

<年の瀬>
32bitの場合、2038年1月19日に時計がオーバーフローします。
つまり、32bit機の限界。

<光>
解説は写真と同じ。
ホログラフィック理論によると世界は二次元写像で表されます。光（エネルギー）がないと三次元の写像は結べない、と。